

岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 三次高野線 測量設計業務委託 (道路災害防除)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor. No. 1	調査位置	広島県庄原市口和町 地内	北緯	34° 59' 00.8343"
発注機関	広島県北部建設事務所 庄原支所	調査期間	令和2年 6月 2日～ 令和2年 6月 4日	東経	132° 52' 03.1830"
調査業者名		主任技師		現代理人	
孔口標高	TP 569.07m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	11.00m	度	0°	向	0°
		地盤勾配	35° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	東邦D0-D型
		エンジン	ヤンマー(株)製 TF-90型	ポンプ	東邦製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験					室内試験	削孔状況	排水量 (L/min)		
														深度-N値図	N値	深さ	打撃回数	貫入量				位置	試験
1	568.07	1.00	礫混じり砂	茶						CL	0.00	0.0~0.45m間、表土、砂は細~中砂主体、φ20~50mm程度の流紋岩角礫混入。所々、木片、植物根を混入。コアは一部礫状をなすが、多くは岩片状である。水平~高角度亀裂が密集する。亀裂面には褐色流入粘土が付着する。	6/5	0	1.00	50	50	50	6/5	66	0	0	0
2			流紋岩	褐灰	w2	h2	B	IV	c	CL	0.00	2.6~3.15mは強く破碎し、礫状~砂状コア。	6/5	50	2.00	貫入不能	50	6/5	66	200	350	0	
3	565.92	3.15			w3	h3	V	d	D	CL	0.00	全体に硬質な岩片を有するも、亀裂の増減を繰り返し、短柱状~岩片状コアが入り交じる。亀裂面には広く流入粘土が付着する。	6/5	50	3.00	貫入不能	50	6/5	66	250	350	0	
4			流紋岩	暗~褐	w2	h2	B	II	c	CM	0.00	5.0~6.5m間、高角度の亀裂が発達。亀裂面に褐色粘土が付着する。	6/5	50	4.00	貫入不能	50	6/5	66	400	350	0	
5					w1	h3	C	III	c	CL	0.00	6.7m付近、50°で発達する開口節理があり、流入粘土を0.5mm厚で挟在する。	6/5	50	5.00	貫入不能	50	6/5	66	0	0	2	
6					w1	h3	C	III	c	CL	0.00	7.55m、7.8m、9.2m、9.55m付近、いずれも5cm内外の幅で局部的に破碎し、細片化する。指圧粉砕可能。	6/5	50	6.00	貫入不能	50	6/5	66	0	0	2	
7			流紋岩	暗~褐	w2	h1	C	III	b	CL	0.00	8.55~8.65m、65°の節理に沿って、褐色粘土が0.5mm厚で付着する。	6/5	50	7.00	貫入不能	50	6/5	66	250	350	0	
8					w2	h1	C	III	c	CL	0.00		6/5	50	8.00	貫入不能	50	6/5	66	350	350	0	
9					w2	h1	C	III	b	CL	0.00		6/5	50	9.00	貫入不能	50	6/5	66			0	
10					w2	h1	C	III	c	CL	0.00		6/5	50	10.00	貫入不能	50	6/5	66			0	
11	558.07	11.00			w2	h1	C	III	b	CL	0.00		6/5	50	11.00	貫入不能	50	6/5	66			0	